



題字は松井岳洋筆

平成28年年頭あいさつ

会長 上村 岳章



新年おめでとうござい
ます。

年頭にあたりまして一
言ご挨拶申し上げます。

来年のことで鬼が笑う
かもしれません。碩心会80周年記念の大会ま
であと1年半足らずになってまいりました。出
来るだけ大勢の参加の下で開催いたしたいもの
です。

今年の目標は記念大会までに会員を200名
以上にする事と、各個人個人の吟力のアップ
です。皆さんの協力で会員増強を図り、吟力を
アップしてもっともつと詩吟を楽しんでいただ
きたいと願っています。

それに会員相互の融和を図り、趣味の会とし
て仲良く、堅苦しくならぬよう円滑に会の運営
が出来るよう願ってやみません。

新聞のコラムの中で見つけた、江戸時代から
言われてきた言葉のなかに一年の大晦日に皆で
話し合う「七味五悦三会」と言う言葉が有りま

No. 432
平成28年2月

発行

(公社) 日本詩吟学院 認可

碩心会

発行者 上村 岳章

編集者 伊藤 岳光

神奈川県三浦郡葉山町堀内 1285

Tel/Fax.046-875-3397

URL <http://sekishin.holy.jp>

す。「七味」とは一年の内に七つの美味しいもの
を食べた話を、「五悦」は五つの楽しい出来事、
「三会」は三つの素晴らしい出会いを話し合
いましょうとのこと。ここには悲しいことや、
辛いこと嫌なことはありません。

ある年齢になると、周りの知人友人親戚の
方々が自然に減ってまいります。その時にどう
しても減っていた方々の数を数えてしまいま
す。先輩から、減った方の数よりも、一年新し
い出会いでの増えた友達を数えなさいと、言わ
れたことが有ります。私も新しい素晴らしい出
会いを求め楽しみにしております。初対面でも
話しかければすぐに旧知のような友となりま
す。会員の減少を嘆くよりも、一人でも多くの
新しい出会いを願ひ、友達が増えることを楽し
みにして、会員増強和気あいあいの会に致した
く全員で前向き姿勢で邁進してまいりますよう
に、新年にあたりお祈り申し上げます、お願ひ申
上げます。



行事予定

第7回全国認可団体代表吟道大会

日時 3月13日(日) 開会10時

場所 日経ホール

碩心会春季審査会

日時 3月19日(土)

場所 葉山町福祉文化会館大会議室

第4回尚歯会全国吟道大会

日時 3月24日(木) 開会10時

場所 日本教育会館一ツ橋ホール

相州岳風連合吟道講座

日時 3月28日(月) 開会10時

場所 ウェルシティ横須賀・市民プラ
ザ5階大学習室

碩心会皆伝会吟の集い

日時 3月30日(水) 開会10時

場所 葉山港管理事務所3階A・B

逗子市詩吟舞連盟春季大会

日時 4月24日(日) 開会13時50分

場所 逗子文化プラザ・なぎさホール

神静地区吟詠大会

日時 5月8日(日) 開会10時

場所 小田原市民会館

第25回神奈川岳風連合会青少年吟詠大会

日時 6月5日(日) 開会10時

場所 神奈川公会堂

碩心会温習会

日時 6月18日(土)

場所 未定

平成28年初吟会

平成28年1月31日(日)
於 葉山町福祉文化会館



岸壁の母・真澄支部



合吟・男性指導者



合吟・長柄支部



合吟・渚支部



段ちゃん太鼓音頭・滝の坂支部



大漁唄い込み・東伏見支部



星影のワルツ・ファイナル



ハワイ音頭・真澄支部

懇親会 参加人数 141名 当番支部 東伏見・一色

寒さを吹き飛ばした初吟会

真澄支部 村上遙山

冒頭、行谷企画部長より、元氣と熱気で寒さを吹き飛ばしてほしいとの挨拶があり、式典が開始された。

各支部合吟は、それぞれの席で行われたが、かえって、普段の教室どおりの、まとまりが取れているように思われた。

指導者合吟では、圧倒的な力強い吟が、また、副会長以上の吟詠においては、我々のお手本ともなるべき吟が、披露された。

式典を締める祝舞は、吟と舞が一体となった、正月らしい雰囲気漂うものであった。午後の新年会においては、趣向を凝らした各支部の余興、また、飛び入りでは、練達の士を感じさせる出し物が続出した。

今回の初吟会は、碩心会がもっている力が、存分に発揮されるとともに、今後への力強い展望を感じさせるものとなった。

昇伝段位認許

(平成28年1月1日付)

皆伝2名

92 根岸奏岳

九段1名

84 大野祥岳

総伝2名

56 高見岳明

93 松木之岳

57 高見岳湘

吟詠と詩舞の集い

一色支部 小菅岳倅

山頂に雪を抱いた富士が青空に聳える11月28日(土)、葉山町福祉文化会館に於いて、「吟詠と詩舞の集い」が開催された。

今年最後となる会員総力を挙げての行事である。舞・俳句・書の立体吟を含む「花」「月」のテーマ吟詠、民謡・三味線のアトラクションが行われた。更に今年が目標でもある「吟力アップ」として設けられた指導者勉強会の代表者による吟も加わり、変化に富んだ一日であった。式典では、許証授与に引き続き、本部表彰の功勞者表彰・ボランティア表彰・90歳の高齢者表彰が行われた。招待者吟詠では、神奈川誠吟会の桑波田会長・西沢副会長・和田副会長さんの吟で会に華を添えていただいた。最後に加藤顧問の先導による万歳三唱で閉会となった。

初めて発表会に参加された方や吟歴の浅い方々の吟は、堂々として声がよく出て立派であった。また、年齢を感じさせない先輩方の生き生きとした表情・向上心等に触れる良い機会でもあった。大会役員の事前の打ち合わせ、当日の役割等に感謝し、少子高齢化の中で健康で詩吟ができることの喜びを噛みしめつつ、行事での緊張感を大切にしながら、今後とも愉しく継続して行きたいものである。



滝の坂支部40周年記念祝賀吟の集い

滝の坂支部 角田有風

平成27年12月4日(金)横須賀市秋谷C33で標記集いが開催されました。前日までのほつきりしない空模様から一転し、会場の大開口窓からは、伊豆大島を臨み、富士山までも姿を見せてくれると言う絶好の天気恵まれました。

顧問・常任理事の先生方、東伏見支部長、滝の坂支部OB、及びお客様、兄弟支部酔吟の皆様方のご臨席を頂き、そして私たち滝の坂支部の会員合わせて、総勢42名が参集しました。第一部として、滝の坂支部が『良寛と一茶』、酔吟支部が『活花』の各構成吟を披露しました。第二部として、先生方、東伏見支部長の一吟を頂き、滝の坂支部OBからも吟、民謡、軍歌を頂きました。退会されてから5年も6年も経っているにも拘わらず、『昔取った杵柄』とでも言う様な見事な喉技でした。今回の集いは佐久間岳爽の90歳を祝う会も兼ねて実施しました。今後とも支部員一同更に精進して参ります。



葉山町デイサービス訪問

紫陽花支部 中山辰山

12月10日(木)の午後「葉山町デイサービス」を総勢12名で訪問しました。詩吟・詩舞の披露は初めてとの事でしたが、根岸葉山地区長の語りかけるような司会進行に通所者の皆さんの目が輝き、そんな視線を感じながらの演技となりました。始めに石川さんの尺八伴奏による吟「富士山」、歌謡吟「武田節」、吟「武蔵の野辺」、「俳句二題」、民謡吟「ひえつきの歌」、「名槍日本号」、磯村副会長の槍持つ舞にはひととき大きな拍手を頂きました。そして尺八のリズムに合わせて、「母さんの歌」等を通所者の皆さんと共に大きな声で合唱し楽しんで頂きました。演技後控え室に以前詩吟をやっていたという方がお見えになり、中村先生にお世話になったとか・・・いろいろと昔話にも花が咲きました。

会員のうごき

- * 入会 (12月1日付)
203 宗助 麗子 (松和) 茅ヶ崎市十間坂
紹介者 岩田維津子
- * 入会 (2月1日付)
204 田中 友子 (紫陽花) 葉山町堀内
紹介者 根岸岳啓
- 205 澤木 翔太 (紫陽花) 葉山町一色
紹介者 吉田朋之進
- * 退会
162 小金井歩泉 (滝の坂)
174 長尾健介 (相洋)

平成27年「吟詠と詩舞の集い」会計報告

科 目	決算額 (円)	摘 要
吟詠と詩舞の集い	50,000	本会計より受け入れ
出 吟 料	149,000	1,000×149名
懇親会参加費	99,000	1,000×99名
雑 収 入	25,000	祝儀4件
合 計	323,000	

ホール使用料	20,150	ホール19,300+練習室850
大会議室使用料	12,040	使用料10,300+延長料1,740
設備使用料	45,300	設備費30,300+暖房費15,000
プログラム作成費	19,380	300部(用紙、印刷代、版下制作費)
傷害保険料	6,400	40円×160名
弁 当 代	105,600	弁当・お茶(660×160名)
懇 親 会 費	79,395	飲物22,072・おつまみ・紙皿等57,323
会 議 費	3,000	準備会議費(説明会・プロ編等)
ポスター制作費	2,216	作成費、カバー用袋
謝 礼 費	27,000	アトラクション、招待者へ
雑 費	2,311	事務用品・コピー代等
余 剰 金	208	本会計へ返戻
合 計	323,000	

今回はほのぼのとした充実感を演技者にもたらしていただいた訪問でした。

一茶の里を訪ねた信州吟行

東伏見支部 山本新岳

最近、俳句俳諧の吟詠が盛んになっている。昨秋隅田川ほとりの「芭蕉記念館」見学が流れて、代わりに北信濃柏原の「一茶記念館」まで足を延ばし一泊二日の支部吟行旅行となった。先ず、今年の北陸新幹線の目玉「かがやき号」で長野まで行き、民営しなの鉄道で黒姫駅までの約3時間の旅で新緑の美しい野山を満喫。駅から記念館までを一茶の句碑道標を頼りに旧い街並みを歩き、予約済みの隣接「そば処」で地元野菜を添えた信州本場の味を堪能した。モダンな姿の記念館は、残雪が美しい黒姫・妙高の山並みが遠望できる高台にあり、学芸員



に詳しく説明を受けた館内の展示資料の数々は流石一茶の故郷が蒐集した貴重なものばかり。屋外の俳諧堂や墓地、雪五尺の大きな石碑等の見学には縁あって長野岳風会の会員の案内を受け、思わぬ県外吟友との友好交流となった。迎えるバスで近場の野尻湖畔観光ドライブを満喫し、更に黒姫高原を疾走して着いた山麓は温泉大浴場が傲慢の公共ホテルで、大部屋を借り切つての夕餉では、地産料理と地酒で大いに盛り上がり教場のように一茶の句を次々吟じた。翌日は貸切ミニバスで一路南下し松代へ。象山記念館と神社境内で「漫述」を合吟し、真田氏居城跡を散策後、名物栗おこわ弁当に舌鼓を打ち、最後の史跡へ。遙か古戦場川中島を望む八幡原、人垣囲む信玄謙信一騎打ちの銅像前で「鞭声粛々・・・」を堂々合吟し全吟行を終了。

編集後記

新しい年、2016年。碩心会は昭和12年、返子の青年会と役場の職員中心の会として、松井岳洋先生命名により誕生。来年は創立80周年記念の年にあたり、記念吟道大会を開催予定です。人々に感動を、人生に潤いをもたらしてくれる詩吟、その魅力を「碩心」誌を通して、多くの方々に今年も伝えてまいります。

広報部

28年2月現在	会員数
返子地区	110名
葉山地区	75名
合 計	185名